

Passion for Innovation.
Compassion for Patients.™



第一三共グループのインパクト評価の現状と課題

2024年11月14日

第一三共株式会社
サステナビリティ部 有馬

第一三共グループについて

(2024年3月末現在)



◆ 会社概要

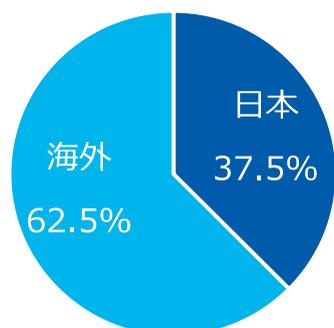
設立 : 2005年9月28日
事業内容 : 医薬品の研究開発・製造・
輸入・販売・マーケティング
グループ会社 : 52
拠点国・地域 : 26
研究開発拠点 : 10カ国/地域 18拠点
生産拠点 : 6カ国/地域 13拠点

◆ 地域別社員数



◆ グローバル売上高

2023年度売上収益 : 1兆6,017億円



創薬力を活かした社会的価値の創出の歴史



時代ごとの「未充足の医療ニーズ」に応え、日本発の革新的医薬品を創出してきた



パーパス

世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

ミッション

革新的医薬品を継続的に創出し
多様な医療ニーズに応える医薬品を提供する

時代ごとの
「未充足の医療ニーズ」
の変遷

感染症

生活習慣病

がん
新興・再興感染症

当社の主な
新薬創出の歴史

抗菌剤

高コレステロール血
症治療剤

高血圧症
治療剤

抗凝固剤

抗悪性
腫瘍剤

mRNA
ワクチン

- ◆ 当社の価値創造プロセス
- ◆ 現在のインパクト評価指標の概要
- ◆ 医薬品の多様な価値（医薬品の社会的インパクト）
- ◆ インパクト評価指標の課題
- ◆ 社会・自然環境のインパクト評価
- ◆ 社員のインパクト評価
- ◆ 持続的な価値創造
- ◆ ステークホルダーエンゲージメント
- ◆ まとめ

当社の価値創造プロセス



現在のインパクト評価指標の概要



患者さん

標準治療の革新
Quality of Lifeの改善

Outcome

- エンハーツ®の適応や上市国・地域拡大
- 革新的医薬品の早期上市・適応拡大
- 医療ニーズに合致した医薬品情報創出



株主・投資家

企業価値の向上
株主総利回り(TSR)の向上

Outcome

- 資本コストを上回るDOE※の実現
- ※ 株主資本配当率=配当総額 ÷ 株主資本
(親会社の所有者に帰属する持分)



社会・自然環境

気候変動への対応
将来の新興・再興感染症への対応

Outcome

- CO₂排出量の減少
- 水使用量の減少



社員

社員と会社の持続的な相互の成長

Outcome

- イノベーションの創出につながる
専門人材の輩出
- エンゲージメントの向上

- **患者さん**: 標準治療の改善、Quality Of Lifeの改善
- **株主・投資家**: 企業価値の向上、株主総利回り (TSR) の向上
- **社会・自然環境**: 気候変動への対応、将来の新興・再興感染症への対応
- **社員**: 社員と会社の持続的な相互の成長

医薬品の多様な価値（医薬品の社会的インパクト）-1

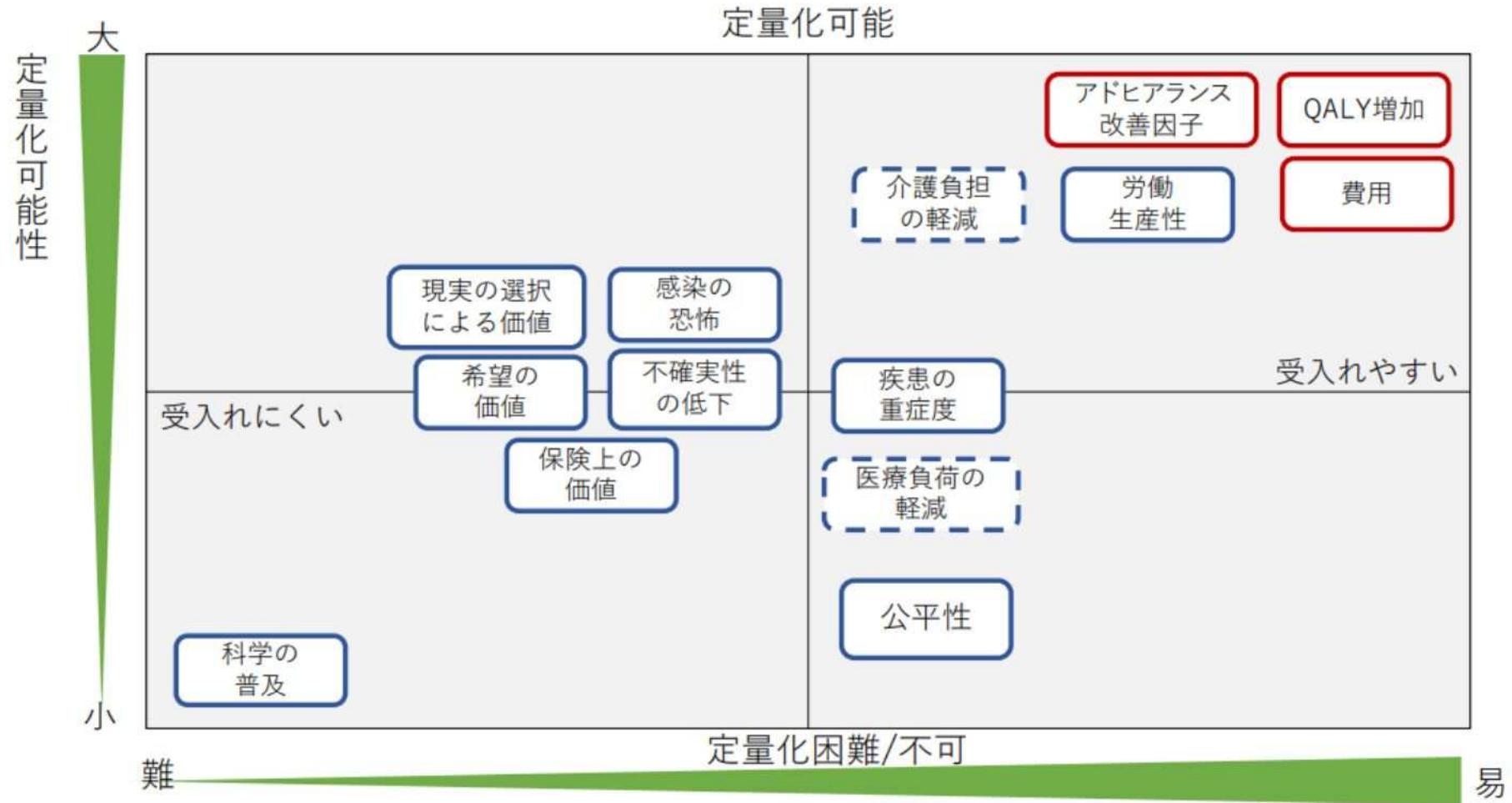
医療技術の社会的な価値要素

図9 社会的な価値要素の類別化



幅広い医薬品の社会的価値

インパクト評価指標の課題



赤線：医療的観点、青線：社会的観点（点線；12要素以外）

医薬産業政策研究所 リサーチペーパー No.76より

社会・自然環境のインパクト評価

社会・環境課題

脱炭素社会

サーキュラーエコノミー

自然共生社会

第一三共の長期目標
(2050年)

カーボンニュートラル

リサイクル率100%

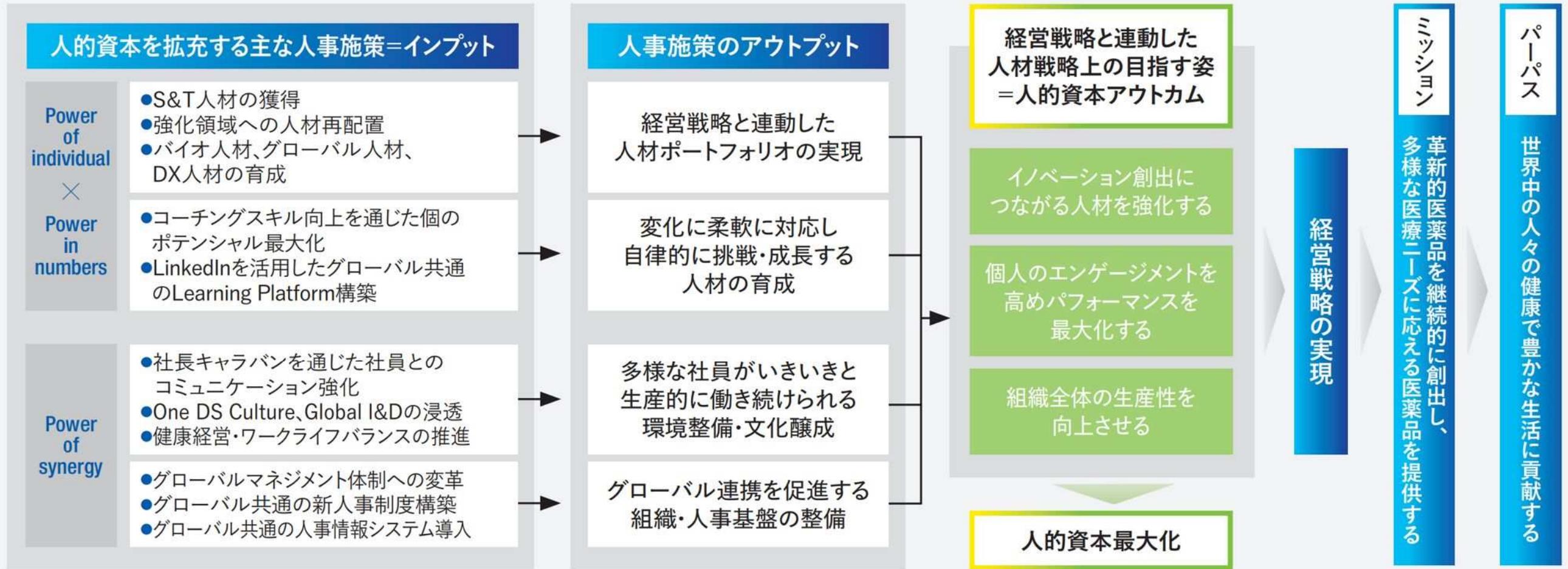
環境リスク最小化

バリューチェーン全体の取り組み



- DX活用
- グリーンケミストリー
- 再生可能エネルギー
- 次世代蓄電池
- 電気自動車
- 化学物質管理
- バイオプラスチック活用
- サプライヤーとの協働
- 水素活用
- ZEB

社員における評価指標の課題



パーパス実現に向けた人的資本を拡充する人事施策

持続的な価値創造



ステークホルダーエンゲージメント



まとめ

サステナビリティ担当者として

- ビジネスに直結した製品・サービスの社会的価値（インパクト評価）は企業のパーパス実現に結びつくため継続した研究が必要
- 社会的価値が次の投資に結びつくサイクルを描く（インパクト投資？）
- 自然資本、人的資本へ創出した価値がどのようにインプットに戻ってくるかを検討したい



[第一三共グループ
バリュールポート2024](#)

ご清聴ありがとうございました。